

番号	【1】
項目	2024 年 4 月、心和中学は学齢の子どもたちが学ぶ。2 年生、3 年生の昼間部の在籍は 26 名、夜間部は約 60 名、常勤教諭 25 名、養護教諭 2 名、校長、副校長各 1 名、教頭 2 名の体制と HP に記している。10 月に、学齢の 1 年生の入学が 9 月には夜間学級の新たな入学生がある。 また心和中学校夜間学級天王寺教室として 6 名の夜間中学生が天王寺中学で学んでいる。本校が毎日 4 時間授業に対し、天王寺教室は 3 時間と格差をつけている。大阪市会「教育子ども委員会」でその理由は？との問いに、1 コマの授業時間の長さを含めと曖昧にし、明確に答えていない【1】。 【1】の見解を明らかにしていただきたい。
(回答) 現在、心和中学校夜間部では 1 コマ 40 分の 4 時間授業、心和中学校夜間部天王寺教室では 1 コマ 40 分の 3 時間授業を実施しております。心和中学校夜間部天王寺教室においては、在籍する 5 名の方に対して、実情に応じた教育課程の編成、授業の展開を行っているところです。現在のところ、実技教科は 2 名の教員で授業を実施するなど、生徒一人一人に応じたよりきめ細やかな学びを実施しております。	
担当	教育委員会事務局 指導部 初等・中学校教育担当 電話：06-6208-9186

番号	【2】
項目	文の里・天王寺夜間中学で2023年度学んでいた夜間中学生71名のうち卒業13名、心 和へ33名、天王寺教室へ5名、除籍20名（夜間中学卒業者の会が把握している数字）。 20名の夜間中学生が学びを継続できなかったということになる。「学びを断念する人た ちが出ないように努力する」といっていた教育委員会事務局も、「いつもの除籍者数だと して」、個人の責任だとして、統廃合が原因では？との指摘を認めようとはしなかった 【2】。 【2】の見解を明らかにしていただきたい。
（回答） 令和5年度末につきましては、天王寺中学校と文の里中学校の両夜間学級合わせて30名ほ どの方が卒業及び自ら退学されております。これまでも中学校夜間学級においては、出席の状 況や個別の事情などにより、年度途中や年度末に退学される方がおられました。令和5年度の 退学者の動向につきましても、例年と大きな変動はないと認識しております。	
担当	教育委員会事務局 指導部 初等・中学校教育担当 電話：06-6208-9186

番号	【3】
項目	また、心和の在籍状況を質問され、3/19の「教育子ども委員会」の答弁で市教委は「天王寺から19名、文の里から10名、新たに25名の入学生、あわせて約60名。天王寺教室へは6名」と答えていた。学齢の子どもたちではありえないアバウトな人数がやりとりされている。5/1時点でどんな実態なのか。5/19に橿原市で行われた近畿夜間中学校新入生歓迎会の舞台には心和夜間中学は5名の登壇者による発表であった【3】。 加えて、4月末日募集期間内に入学希望した人たちに、入学を断り他の夜間中学に行くようにと入学受付担当者が応接したという報告が新入生歓迎会の発表の中にあったが、教育委員会事務局が把握された事実と見解を【3】に加えて明らかにしていただきたい。
(回答) 5月1日現在では、心和中学校夜間部に62名が在籍しており、その内5名の方が天王寺教室に通っております。 また、心和中学校夜間部において、想定よりも日本語指導が必要な方が増えたことで、授業の質を担保するために、5名の方に入学を待っていただいたとのことです。5名の内2名の方は、別の市内夜間中学校に入学し、現在は3名の方と個別に連絡を取り合う中で9月の入学を進めております。	
担当	教育委員会事務局 指導部 初等・中学校教育担当 電話：06-6208-9186